

JCNE助成金活用セミナー

「助成金と寄付」

(公財) 日本非営利組織評価センター 山田泰久
Twitter : @canpan2009
<http://www.facebook.com/yamadamay>

2022年12月Ver.01

プロフィール：山田泰久（やまだやすひさ）

公益財団法人日本非営利組織評価センター 業務執行理事

寄付月間 推進委員会委員／共同事務局事務局長

一般社団法人全国コミュニティ財団協会 監事

イシス編集学校（松岡正剛氏主宰） 師範代

群馬県高崎市出身、慶應義塾大学文学部卒（フランス文学専攻）。

1996年日本財団に入会。2009年から公益コミュニティサイト「CANPAN」の担当になり、NPO×情報発信、助成金、IT活用、寄付をテーマに様々なNPO支援の活動に取り組む。

2016年4月、（一財）非営利組織評価センター（JCNE）の設立とともに、業務執行理事に就任し、非営利組織の組織評価・認証制度の普及にも取り組んでいる。

※2022年11月に公益財団法人化&名称変更。

twitter: @canpan2009

Facebook <http://www.facebook.com/yamadamay>

note <https://note.com/yasuhisayamada>

CANPAN講座 <http://blog.canpan.info/c-koza/>

JCNE・NPOフォーラム <http://blog.canpan.info/cpforum/>

情報発信のこともやっています。

セミナーだけでは伝えきれないことを本にまとめました。

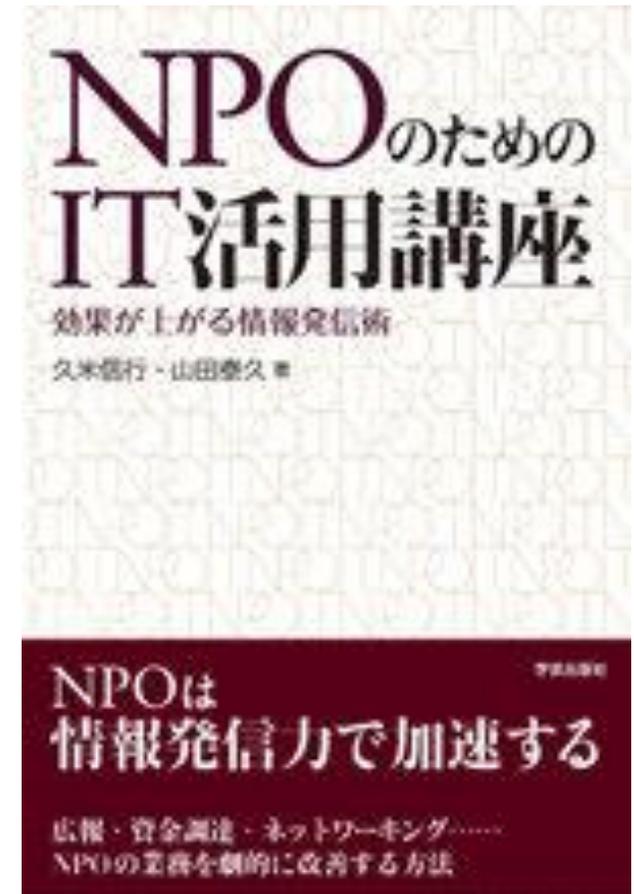
NPOのためのIT活用講座
～効果が上がる情報発信術
久米 信行 著 山田 泰久 著
学芸出版社



四六判・224頁・定価 本体1800円+税

■■ 内容紹介 ■■

「お金が足りない」「忙しい」「どんな情報を発信していいかわからない」…そんなアナタに、無駄な手間とコストをかけず、個人・団体としての活用を使い分け、広報、資金調達、マーケティング、キーパーソンとのネットワーキングなど、NPOの業務に劇的な効果をもたらす方法を、二人の達人が豊富な事例をもとにお伝えします。



日本非営利組織評価センター（JCNE）

2016年4月1日、全国の非営利組織の評価を行うことで信頼できる組織の情報を広く社会に発信し、支援環境の充実に寄与するために非営利組織評価センター（JCNE）を設立しました。

チャリティの歴史が長い諸外国では、第三者である評価機関が寄付等を受けて活動する団体の運営状況を評価認証し、結果を公開しています。日本でも同様の非営利組織の評価が必要な時期になりました。

この非営利組織評価センターは民間セクターの手で作りたいという願いから、多くの団体に設立のご支援をいただきました。株式会社をはじめ助成財団、NPO、一般法人といった多様な設立発起人からのご出捐。そして賛同パートナーである助成財団からの応援を得ています。さらに5年後の自立を目指し事業運営には日本財団の助成をいただいています。

組織マネジメントに関する第三者評価



グッドガバナンス認証

JCNEの独自の評価基準に基づき、専門の評価員が団体を訪問し、ヒアリングや書類確認によって組織運営の状況を評価しています。その評価結果をもとに、非営利組織の中でも組織運営やガバナンスが一定水準以上のレベルの団体を認証しています。グッドガバナンス認証団体は外からは見えにくい組織内部の状況を第三者機関に開示して、信頼性・透明性の向上に努めている団体です。また、課題がある場合も見直し、改善をしていく姿勢や意欲のある団体でもあります。寄付をしたい、ボランティアとして参加したいという市民や企業の方が、期待をかけて支援ができる団体として紹介しているのが「グッドガバナンス認証団体」です。

https://jcne.or.jp/evaluation/good_governance/



グッドガバナンス認証

ベーシックガバナンスチェック

JCNEの独自の評価基準に基づき、団体運営の基本についてセルフチェックと提出書類をもとに簡易的に評価をしています。評価結果は「ベーシックガバナンスチェックリスト」で公開され、随時更新されます。継続的に第三者評価を受け、情報開示に積極的な透明性の高い団体として、JCNEは掲載団体への支援を推奨しています。

ベーシック評価基準23項目に基づく簡易的な組織評価です。

<https://jcne.or.jp/evaluation/outline/>

寄付月間：毎年12月

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。



欲しい未来へ、 寄付を贈ろう。

一年の終わりに、考えたいのは未来のこと。

もっと楽しい未来。もっと優しい未来。

もっと平和な未来。もっと多様性が認められる未来。

そんな未来を手にするために、あなたの気持ちを寄付にしよう。

寄付は意思、寄付は投資、寄付は応援、寄付は願い。

寄付で未来は変えられるのです。

だから、「Giving December」。

一年の終わりに、未来を考え寄付をする。

そんな習慣を、はじめたいと思います。

欲しい未来を叶えてくれるさまざまな取り組みに、

あなたの想いを託しましょう。

さあ、年の終わりに、新しい「寄付」がはじまります。

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。



寄付月間～Giving December～について

寄付月間とは

寄付の受け手側が寄付者に感謝し、また寄付者への報告内容を改善するきっかけとなり、そして多くの人々が寄付の大切さと役割について考えることや、寄付に関心をよせ、行動をするきっかけともなる月間を制定する。

推進委員会

委員長 小宮山宏 三菱総研理事長/元東京大学総長

共同事務局長 山田泰久 一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事

民間非営利組織、企業、行政、国際機関などで寄付に関連する取り組みをしている全国代表的な機関の代表者が集まり、35名の推進委員会を構成 各法人の有志による共同事務局を設置して、寄付月間の統一ロゴ作成や各方面との連携による全国的周知による啓発活動、イベント開催や賛同パートナー（無料）の拡大などを行います

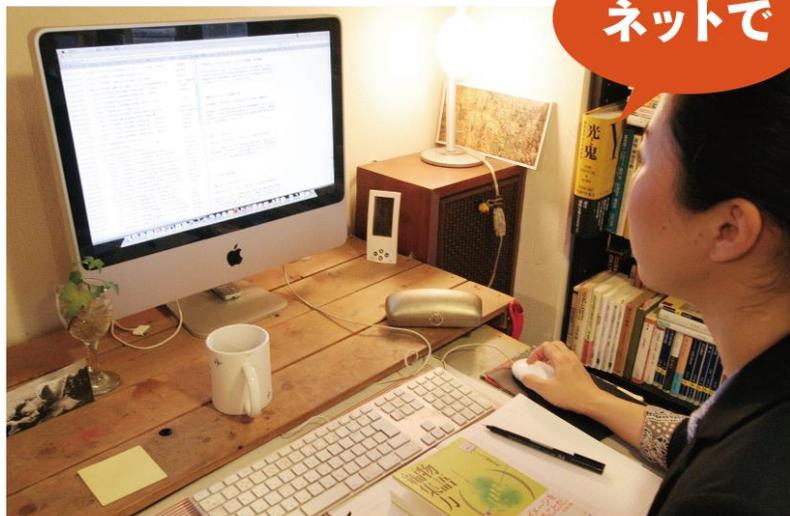
その他

・社会課題の解決のための寄付の促進が本委員会の設立の背景にあるが、寄付の定義は、寄付者個人によって違いがあり、多様性を許容する観点から、寄付の定義について委員会としては明確な排他性をもたない。

・本委員会、寄付月間参加は、各主体の自発性に基づくものであり、何ら強制的な要素を含まない。また、特定団体や特定課題への寄付を要請するものではなく、委員会としての政策提言を目指すものではない。



いますぐ体験!



編集力チェック **無料**

編集力とはどんなもの? イシス編集学校の稽古を無料で体験できます。ウェブから申し込むと「お題」がメールで送られてきて、回答を返信すると、師範代から指南コメントが届きます。

▶ <http://es.isis.ne.jp/web.html>



ISISエディットツアー

ブックサロンスペース「本楼」ほかユニークな書棚空間を巡りながら、編集的な体験を楽しむツアーです。映像や座談、ワークショップを交え、アタマもココロもやわらかくする2時間のプログラムで、「編集」のエッセンスを体感。イシス編集学校の編集稽古も体験できます。

● 毎月開催、日程限定。 ● Ticket: 1,500円(税別)

▶ <http://es.isis.ne.jp/edittour.html>



詳しくはイシス編集学校ウェブサイトをご覧ください。 <http://es.isis.ne.jp>

資料請求・お問合せ・お申込は

イシス編集学校 学林局

front_es@eel.co.jp

よい団体とは、
よい活動とよい情報発信を
している団体である。

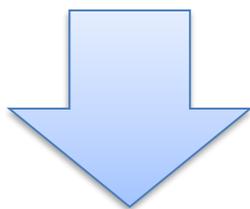
助成金も同じ

なぜ、NPOは情報発信するのか？

そもそも、NPOやその活動は外から見てわからない存在である。

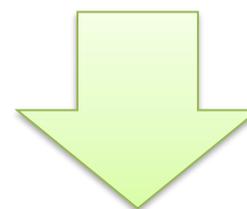
NPOの活動は、現場にいないとわからない。

活動の可視化



活動中の感動を

活動の価値化



価値にして伝える

山田の個人的な感覚ですが・・・

2種類の寄付者の傾向

(助成金も同じですが・・・)

活動の実績

活動の成果

お話しをする前に・・・①

助成金に関する基礎知識は、以下のページの掲載資料参照

<http://blog.canpan.info/c-koza/archive/517>



【基本】初級～上級

1. 助成金の全体像を把握する

助成金の活用2014_セミナー資料_基礎編.pdf

2. 助成金というものがどういうものか、その基本を知る

助成金セミナー基礎編_日本財団荻上.pdf

3. 助成金申請から事業報告まで、助成金に関する一連の流れとやることを学ぶ

助成金活用マニュアル_日本財団荻上.pdf

【応用】中級～上級

4. 助成金を活用するという視点で、あらためて助成金の可能性について学ぶ

助成金の活用2017_セミナー資料.pdf

5. その他、申請から事業実施まで、助成金について参考なると情報を知る。

助成金の活用2014_参考資料.pdf

お話しをする前に・・・②

助成金について学ぶために参考になるサイトや資料など

1. (独法)福利医療機構 WAM助成

<https://www.wam.go.jp/hp/cat/wamjosei/>

助成金に関するノウハウ集や事業評価報告書など参考になる資料が豊富

2. あいちモリコロ基金の調査・評価(基金の運営&助成活動の成果)

https://www.morikorokikin.jp/7_chosa/chosa.html

10年間の助成プログラムの総括報告書が助成金の考え方を学ぶのに最適

3. IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

ソシオ・マネジメント第4号「成果を最適化するための助成プログラムのコミュニケーション調査」

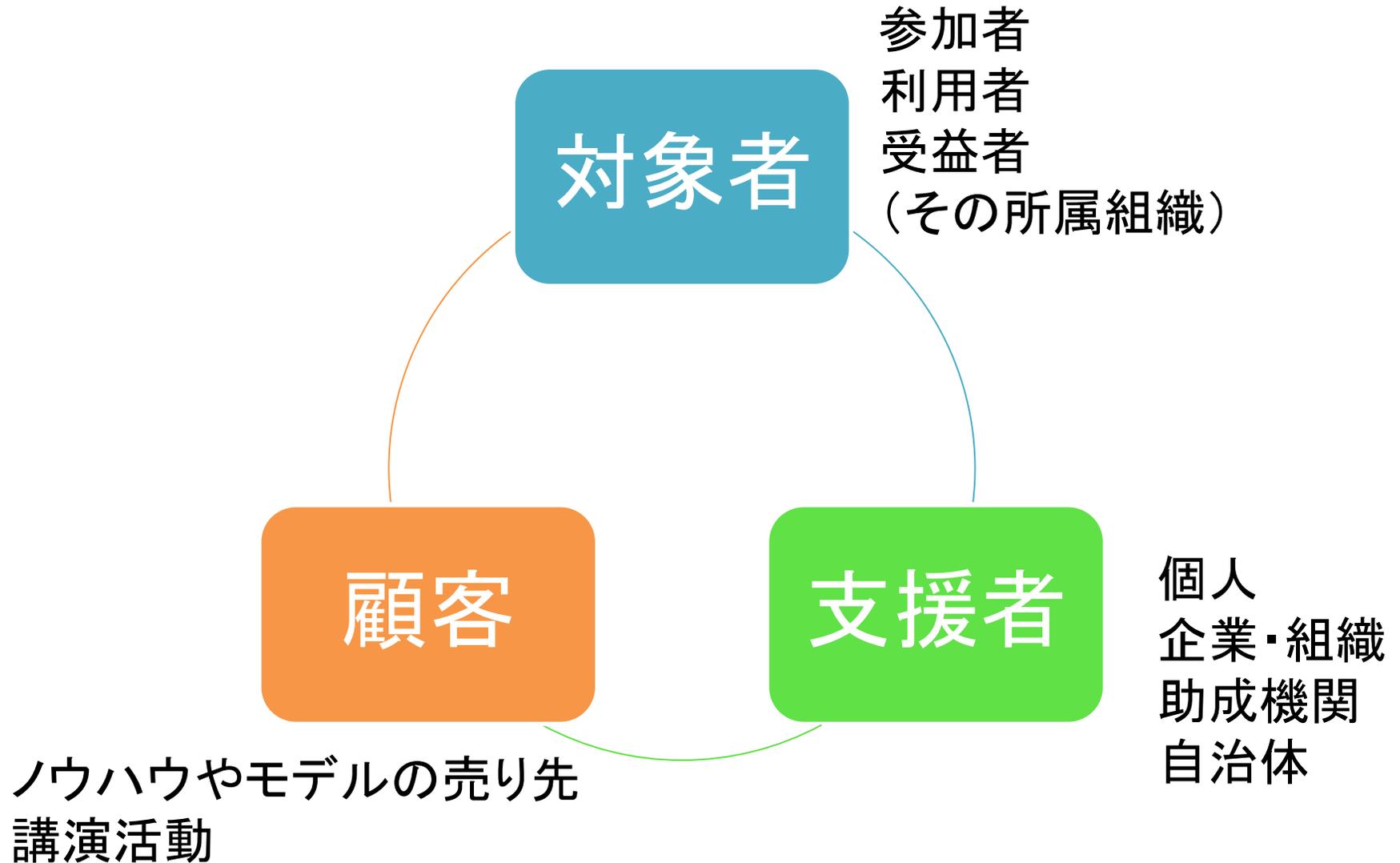
NPOマネジメント(バックナンバー)

<http://blog.canpan.info/npomanagement/>

ソシオ・マネジメントは助成財団向けの内容だが、助成金をさらに詳しく学びたい方にお薦め。

NPO/市民活動の資金調達

誰からお金をもらうのか？



4つの資金源

会 費

寄 付

事業収入

補助金・
助成金

4つの資金源

会費

| | |
|------|-------------|
| 組織会員 | 寄付 サポーター |
| 利用会員 | NPOの 会員 |

寄付

| | |
|------|-----|
| 地元企業 | 組織 |
| 個人 | 大企業 |

| | | |
|------|------------|------|
| 業務委託 | 所属組織 | 受益者 |
| | ノウハウ 提供 | 制度事業 |

| | | |
|---------------|-------------|-----------|
| NPO支援 の補助金 | 地域の助 成機関 | 社会的 投資 |
| それ以外 の補助金 | 全国の助 成機関 | |

事業

| |
|------|
| 指定管理 |
|------|

融資

助成

NPOの財源全体の中で、
助成金と寄付のバランスを考える。

NPOの資金調達

成果を出し続けることで、継続的な支援が得やすいお金

継続性資金

自治体等の制度的な補助金や、企業や個人の寄付、事業収入

受益者数や地域の変化などの成果が目標

よい成果を出しても、性質上、継続的な支援が得にくいお金

単発性資金

民間の助成金や省庁・独法の補助金、クラウドファンディング等

仕組みやハード、モデル事業などの「残るもの」が目標

クイズ：寄付と助成金

あるプロジェクトの活動資金として、100万円がほしい。

あなたの団体はどの方法で資金調達したいですか？

A. 100名の市民から、一人1万円の寄付で計100万円

B. 助成金で100万円

外部の資金源の付加価値

信頼の付加価値

→「誰からもらっているか」という評判・信頼

ネットワークの付加価値

→資金源が持っているネットワークを活用できる

事業づくりの付加価値

→資金源が持っているノウハウを提供してもらえる

事業後の付加価値

→成果を上げることで団体の実績になる

→関係が構築される

助成金の付加価値

信頼の付加価値

→助成機関からもらっていることによる信頼度向上、実績作り

ネットワークの付加価値

→助成機関が持っている活動分野間のネットワーク

事業づくりの付加価値

→助成プログラムを通じて助成機関に蓄積された、持続的で波及性のある事業づくりのノウハウや視点

事業後の付加価値

→成果を上げ報告することで、団体のことをさらに詳しく知ってもらい、その成果を代わりに宣伝してもらえ

結局、助成金？

それとも、寄付？

助成金が先か？ 寄付が先か？

同じプロジェクトに対して、同時で、助成金と寄付金の資金獲得は難しい。

助成金の自己負担部分を寄付で賄うという考え方もあるが、それを目的とした寄付集めは難しい。共感を得にくい。

どちらかという、法人全体に対する寄付の一部を使用する。

➡同時ではなく、後先で考える。

自立と助成金と寄付

助成金



事業収入化

寄付で支える
仕組みづくり

コスト削減化

助成金をきっかけの資金にして、自立できる形を目指す

助成金から寄付へ

助成金を寄付につなげていくという考え方。
休暇預金だと、いわゆる出口戦略。

助成金で実績を作ること。

- ①活動の実績と成果を作り、可視化する。それを材料に、寄付の呼びかけを行う。(寄付することで生み出される実績や成果の想定としてアピールする)
 - ➡呼び水効果
- ②助成事業で今までにない解決法を作り出し、それを売りにしていく。
 - ➡モデル事業

★ここで言う「実績」と「成果」は別物

実績: 活動や回数、人数など

成果: 社会(もしくは受益者)の変化・変革、インパクト、影響

寄付募集のための助成金

助成プログラムによっては、寄付募集の体制強化も対象事業となる。
基盤整備／基盤強化の助成プログラム

例：パナソニック NPO/NGOサポートファンド for SDGs
（組織診断・基盤強化）

地域の助成財団

自治体の助成金

助成金と寄付

寄付をきっかけに助成金につなぐ。

- ①寄付で小さく実証実験をした上で、助成金に申請する。
- ②初期投資の大きな金額は助成金を獲得し、運営費は寄付で賄う。
- ③拠点整備はクラウドファンディングで、運営のソフト部分は助成金を獲得する。

寄付と助成金では、「クラウドファンディング→助成金」の組み合わせがよくありそう。

立ち上げ資金 →クラウドファンディング
コンテンツやソフト →助成金

支援活動の事業化

調査研究

課題
発見

実態
調査

ニーズ
調査

仮説
設計

事業の
プロトタイプ

モデル
事業

制度化
普及啓発

ノウハウ
化

社会
実装

支援活動

事業
実装

事業
改善

事業
運営

仮説
検証

成果
まとめ

事業
収入化

規模
拡大

助成金とは・・・

樹木は育成することのない
無数の芽を生み、
根をはり、枝や葉を拡げて
個体と種の保存にはあまりあるほどの
養分を吸収する。

樹木は、この溢れんばかりのの過剰を
使うことも、享受することもなく自然に還すが
動物はこの溢れる養分を、自由に
嬉々としたみずからの運動に使用する。

このように自然は、その初源からの生命の
無限の展開にむけての秩序を奏でている。

物質としての束縛を少しずつ断ちきり、
やがて自らの姿を自由に変わっていくのである。

**“デンマーク王子アウグステンブルク公にあてた
美学的なことに関する書簡第27号より一部を抜粋”
フリードリヒ・フォン・シラー**



横浜／ランドマークタワー